

立教大学アメリカ研究所設立 80 周年記念シンポジウム

ミレニアル世代をめぐる想像力

本シンポジウムは、アメリカ合衆国社会のいまを、「ミレニアル世代」に注目して解き明かそうとするものである。2000年代に成人になったミレニアル世代の台頭は、アメリカ社会の様相を大きく変えつつある。デジタル・ネイティブならではの情報受発信慣習をもつだけでなく、20世紀的な成長物語を相対化するミレニアルズは、右派左派の分裂がいわゆる先行世代とときに競合し、ときに連携しながら存在感を高めている。ジャーナリスティックには報じられはじめると、本格的な研究にはとぼしいこの新世代とかれらをめぐるアメリカ社会の状況を、気鋭の歴史学者・文学者・文化研究者をむかえて検討する。(予約不要・入場無料)

演題・講師

「なぜアメリカに社会主義がないのか／今あるのか」

フェリス女学院大学文学部教授 梅崎 透

「"Harmony of Difference" —— カマシ・ワシントンに聴くジャズの今」

早稲田大学教育学部准教授 佐久間 由梨

「政治が世代を語る時 —— ニューライトからみた若者世代」

東京福祉大学留学生教育センター特任講師 森山 貴仁

コメント

立教大学文学部教授 新田 啓子

司 会

立教大学文学部教授 松原 宏之

日 時

2020年1月26日(日) 13:30 ~ 17:00

会 場

立教大学 池袋キャンパス 太刀川記念館カンファレンス・ルーム

主催：立教大学アメリカ研究所 (ramins@rikkyo.ac.jp、03-3985-2633)